

# 4月18日(月)は多久聖廟春季積菜へ

せきさい

積菜は、儒教の祖である孔子とその高弟（顔子・曾子・子思子・孟子）を祀る多久聖廟で、毎年春（4月18日）と秋（10月第4日曜日）に拝礼と供物などを行う式典です。

式典の後には、聖廟境内で地元のみなさんによる「積菜の舞」や「腰鼓」などの舞い踊りが披露されます。

また、積菜当日に限り、12時から16時まで廟内を見ることが出来ます。

みなさん、市内外のご友人などお誘いで、ぜひお越しください。

## 当日の催し

- 積菜 10時30分～11時30分
- 参列生徒の唱歌 11時30分～11時35分
- 孔子の里 腰鼓 11時35分～11時45分
- 積菜の舞 11時45分～12時
- 揚琴の調べ 12時～12時15分

## ■問い合わせ 財団法人

孔子の里  
☎75-5112

## 東北地方太平洋沖地震被災地へ みなさまのご支援をお願いします

3月11日におきた東北地方太平洋沖地震では、東北地方を中心に広い範囲で甚大な被害が発生しました。

多久市では被災地の救援のため義援金や支援物資を受け付けています。市民のみなさまのご支援をお願いします。

### □義援金について

日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災者の支援に充てられます。義援金の募金箱を、市役所1階の受付カウンター横、多久市社会福祉会館および各町公民館に設置しています。

※領収書をご希望の方は、総合政策課で発行しますので、お手数ですが市役所までご持参ください。

### 口座振込みによる義援金の送金もできます

次の口座にお振り込みください

口座番号：佐賀銀行 呉服町支店  
(普)5033056

口座名義：日本赤十字社佐賀県支部

※通信欄には必ず「東北関東大震災義援金」と明記してください。

### □支援物資について

支援が必要な物資は、被災地の状況により変わりますので、囑託員への文書または防災行政無線等により随時お知らせします。

■支援窓口 総合政策課 ☎75-2116

被災地の救済等をかたる、悪質な詐欺にご注意ください

## 市長コラム

## 温故創新

Message for citizen

### 「がんばろう・日本」

〜この危機を乗り越えよう

市長 横尾俊彦

3月11日午後2時46分。東北地方太平洋沖でとてつもない巨大地震が発生した。マグニチュード9.0。国内最大の地震。激震の直後には大津波が発生。人々が逃れる間もなく、15m超の津波に呑み込まれた町もある。死者行方不明者は2万人超。家屋や地域の破壊も多発。被災は岩手・宮城・福島県など数百キロの広域にわたる。

すぐに被災地応援、被災者支援が各地に広がった。多久市も義援金受付を14日に始め、その後も続々集まっている。毛布などの支援物資も寄せられている。被災者が一時避難できるように、佐賀県と県内市町の協力で3万人受け入れをめざす。全国で同様の取り組みが広がっている。でも物資が必ずしもきちんと届かず課題も発生している。

震災は福島原発にも及んだ。4機の原子炉状態が急速に悪化。温度上昇、水素爆発も発生。炉心溶解や放射能放散の危機が生じ、自衛隊が緊急出動した。19日は夜を徹して東京消防庁の特別部隊が原子炉冷却給水に奮闘した。出勤命令を家族に知らせたメールには、妻から「日本の救世主になってください」と一行のメール。その気高い勇気と愛情が胸を打つ。作業は功を奏し、まさに消防魂が危機を救った。また施設現場には、危険されうる放射能環境の中で全力を尽くし続ける人々がおられる。無事と奮闘を祈るばかりだ。

国家としての迅速果敢な対応が必須だ。あらゆるものをフル稼働させ、前例や法規制も超越し、この難局を乗り越えねばならない。日本と日本人の実力そのものが試されている。(3月20日)